



没後20年 司馬遼太郎展

「21世紀“未来の街角”で」

本に
あろう。
あろう。
司馬さん

平成29年

2017. 9/16(土) → 10/15(日)

会場 / 愛媛県美術館

休館日 / 9月19日(火)、25日(月)、10月10日(火)

※9月29日(金)は臨時休館

開館時間 / 9:40-18:00 (入場は17:30まで)

(初日は11:30開場、最終日は17:00まで)

観覧料 / 一般600円、高校生400円、中学生以下無料
坂の上の雲ミュージアムとの共通観覧券800円

※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料です。

主催 / 司馬遼太郎展松山展実行委員会 (松山市、愛媛 / 松山ミュージアムストリート連絡協議会、松山市文化協会、松山観光コンベンション協会、愛媛県書店商業組合)、産経新聞社、公益財団法人司馬遼太郎記念財団、愛媛県美術館
監修 / 司馬遼太郎記念館 協力 / NHK 特別協力 / 大阪城天守閣
後援 / 松山市教育委員会、愛媛新聞社、朝日新聞松山総局、毎日新聞松山支局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

没後20年 司馬遼太郎展「21世紀“未来の街角”で」

日本とは何か、日本人とは何かを問い続けた国民的作家、司馬遼太郎（1923～96）が亡くなって20年がたちました。20世紀を駆け抜けた72年の生涯で司馬遼太郎は、『竜馬がゆく』『坂の上の雲』などの数多くの小説やエッセーを残しました。

本展は、戦国時代から現代までの司馬作品が並ぶ展覧会場を、『二十一世紀に生きる君たちへ』に通じる未来の街角に見立て、貴重な自筆原稿や挿絵、関連する歴史資料などを展示します。

『坂の上の雲』のまち松山で開催する今回の展示が、司馬遼太郎の遺したメッセージを体感し、何かを考え、行動するきっかけとなることを願っています。

【プロフィール】

司馬遼太郎（1923～96）

大阪市生まれ。産経新聞文化部記者時代の1960（昭和35）年に『菜の花』で直木賞受賞。その後『竜馬がゆく』、『坂の上の雲』、『菜の花の沖』などの小説、『街道をゆく』、『この国のかたち』などの紀行、エッセーなど多数の作品を残す。1993（平成5）年文化勲章受賞。



司馬さん
本に
あろう。

“未来の街角” MAP

- 戦国動乱 16C 16世紀の街角
- 維新回天 19C 19世紀の街角
- 裸眼の思索 21C 21世紀の街角

19C
維新回天
19世紀の街角

いままさに生まれたばかりの日本人が持ち合わせていた、志にであう。

『菜の花の沖』



『坂の上の雲』

二十一世紀とは、
どんな世の中でしょう。

16C

戦国動乱
16世紀の街角

16世紀の街角で私たちは、動乱の時代を駆け抜けた人々の輝きにであう。



『関ヶ原』

『国盗り物語』



21C

裸眼の思索
21世紀の街角

21世紀の街角で私たちは、司馬遼太郎が考え続けた、いまだ新しい足跡にであう。



『街道をゆく』

[関連企画]

開会記念講演会

講師：上村洋行氏（司馬遼太郎記念館館長）

日時：平成29年9月16日（土）13：30～14：30

会場：愛媛県美術館2階研修室

参加料：無料（申込不要）/先着順：定員60名

講演会

講師：菅康弘氏（NHK 理事、元スペシャルドラマ「坂の上の雲」エグゼクティブプロデューサー）

日時：平成29年9月23日（土）15：30～17：00

会場：坂の上の雲ミュージアム2階ホール

参加料：無料 / 先着順：定員80名

申込方法：電話にて申し込み。電話：089-915-2601

特別展示 「司馬遼太郎と『坂の上の雲』」

日時：平成30年2月18日（日）まで

場所：坂の上の雲ミュージアム3階企画ギャラリー



【お問い合わせ】

坂の上の雲ミュージアム

SAKANO UE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20

電話：089-915-2600 FAX：089-915-3600

司馬遼太郎
作家への道

コラム



会場 / 愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

電話：089-932-0010 FAX:089-932-0511 <http://www.ehime-art.jp/>

[交通案内]

- 駐車場は、県庁西駐車場（2時間無料）をご利用可能、ただし駐車台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。
- JR松山駅より道後温泉または市駅行き市内電車で5分「南堀端（愛媛県美術館前）」下車、徒歩1分
- 松山観光港よりリムジンバスで30分「市駅」下車、徒歩5分
- 松山空港より車で20分

①織田信長像（模写）片野記念館蔵 ②『関ヶ原』初出誌「週刊サンケイ」 司馬遼太郎記念館蔵 ③『坂の上の雲』単行本 司馬遼太郎記念館蔵 ④辰悦丸模型 坂口富雄氏蔵 ⑤『街道をゆく』南伊予・西土佐の道 挿絵原画「松山城天守閣」須田滔太画 大阪府（大阪府20世紀美術コレクション）蔵 ⑥初期作品を執筆した文机 司馬遼太郎記念館蔵

